



壱岐高便り

第131号

発行責任者
山口 千樹



携帯サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



教頭 濱野 正義

宿題(課題)は学校に通う日本中の子どもたちの悩みの種だ。

私は40年前、小学校の卒業文集に「日本を支配して、宿題をなくす」と書いた。

もちろん、私はまだ日本征服を果たしていないので、日本中の子どもたちは今もなお宿題に多くの時間を費やし苦しんでいるのであろう。

OECD(経済協力開発機構)加盟国の家庭学習時間調査(2013年実施)によると、上海の子どもたちが第1位で、高校3年生が週平均900分。日本の高校3年生の平均は423分で、これは上海の小学校3年生の平均時間とほぼ同数。上海の学校が子供に課す宿題の量が世界一だと言われているのだから当然の結果である。

しかし、上海の学校が生徒に課す宿題が、授業の予習・復習に関するものだけではなく、「今日学習した〇〇は、実際の生活の中でどういう場面で使われているか調べて来なさい。」「今日学習した〇〇を、将来どういう風に役立てていきたいか考えてきなさい。」「今日学習した表現を実際に使う場面を設定し、会話文を作ってきなさい。」など、学習内容と実社会との関連性を調べるものであるという点に注目して欲しい。

家庭学習がなぜ必要であるのかを、生徒諸君はきちんと理解していますか？

小学生のときに初めてリコーダーの授業を受けた時、授業中だけでリコーダーを吹けるようになりましたか？自分の家で何度も練習をしたのではないですか？

家庭学習は、単に問題を解くのが目的であってはいけません。学校で習ったことを自分のものにする、使えるようにする、そして可能ならば上海の子どもたちのように、今あるいは将来の生活にどう役立てるかまで考える、そんな時間にして欲しい。

何を目的として、その目的達成のために何をすべきなのかという点に関して、誤解をしている高校生は多い。例えば、「国際関係の仕事がしたいので、英語の勉強ができる大学に行きたいです。」という生徒がいる。私はいつも次のようにアドバイスしてきた。「国際関係の仕事をするには、まず日本のことを知るのが大前提だから国語や日本史、現代社会をしっかり勉強し、その上で世界のさまざまなことを知るために世界史や地理を、そして最後に話す道具としての英語を勉強することが必要だね。」と。また、「人の心を読むのが好きなので心理学の方に進みたいです。」という生徒には、「心理学は読心術や占いとは違うよ。第一『サトラレ』ではない限り、人の心は読めません！心理学とは、実験を繰り返して、そこで得たデータを分析していく分野。だから理科や数学の知識が必要。バリバリ理系の分野だよ。」と

いずれにせよ、君たちが自分の将来のことをよく考え、家庭での学習を意義あるものにするようにできれば、私は壱岐高校を支配して、課題を無くしてあげるのだが……。

生徒指導部より

体育祭後、校長先生のもとに一通の便りが届きました。地域の方が参観に来られ、大変感動したという内容でした。一人ひとりが明るい表情で楽しみながら協力しあって参加している様子に、若さと生きる勇気を得たと綴られていました。ひたむきな姿勢は、自己を磨くだけでなく、周りにいる人に感動を与えたり、力を与えたりできるということを改めて感じる事ができました。

熱気に包まれた煌雪祭（体育祭・文化祭）が終わり、子どもたちも大きく成長したようです。これからも限られた時間の中で物事をやり遂げなければならない場面が沢山あります。この経験を糧とし、より充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、朝晩が暗くなるのが早くなってきました。自家用車の乗り降り禁止区域について、再度ご確認くださいませようお願いいたします。交通事故等を防止するためにも、なお一層のご協力をお願いします。

進路指導部より

沓岐高生が大きく成長する「勉強の秋」がやってきました。

1年生は文系・理系の最終決定があり、今後はそれぞれの目標に向かって学問研究や職業研究を行います。

2年生は対外実力テストが初めて5教科で実施されます。理科や地歴を含む総合力を測る「学力の全国大会」です。沓岐高生の誇りをかけて臨みましょう。

3年生は、就職試験や公務員試験だけでなく、大学等推薦・AO入試出願も始まりました。また、来年1月に実施される大学入試センター試験の出願準備も行っています。センター試験は、国立大学への進学に必要なだけでなく、多くの私立大学入試においても利用できる試験です。得意科目はもちろんのこと、苦手科目に対する学習姿勢が問われるため、まさにこれまでの高校生活3年間の集大成と言えます。学年一丸となって進路実現に向かって悠々と急ぎましょう。

歓迎沓岐高校～ようこそ沓岐高校へ～

この秋1年1組に転入してきた中国からの留学生、何 祥龍君にインタビューしました。

Q、どこからきましたか？

A、兵馬俑で有名な西安出身です。

Q、日本に興味を持ったきっかけは？

A、日本のTVアニメを見たことです。

Q、好きなアニメは？

A、「NARUTO」や「ワンピース」です。

Q、沓岐に来ての第一印象は？

A、人は多くないけれど、食べ物はおいしく、みんな親切です。

Q、日本語がお上手ですが、どのくらい勉強しましたか？

A、中1から4年間やりました。

Q、日本の授業を受けてみてどうですか？

A、だいたいわかります。英語は、日本語を一度中国語に直してから英訳するので、ちょっと難しいですが、数学は易しいです。古典は難しいですね。

Q、この一年間の目標は何ですか？

A、今、日本語能力検定の3級を持っているので、1級に合格することが目標です。

Q、将来について教えてください。

A、デザイナーになりたいと思っているので、いったん中国に帰り、その後日本の大学に留学してCMデザインを学びつもりです。日本のCMは発想がおもしろいのでから。

Q、最後に、これを読んでいる

A、私は沓岐で皆さんの生活を理解したいと思っています。

みんなに一言お願いします。

また、日本の皆さんにも中国のことを理解してもらいたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。



彦岐高Topics!

10月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

「海洋生物観察実習」

9月12日(月)～14日(水)の3日間、2年生生理系を対象とした海洋生物観察実習が行われました。この実習は、彦岐市芦辺町の箱崎漁港で水揚げされた海洋生物を題材として、海洋生物に対する課題を各グループで見つけ、その課題を解剖や観察・実験を通して解決していく取り組みです。また、長崎大学水産学部山口恭弘教授のご指導のもと実施されました。



1日目は、箱崎漁協組合長の西寛様、彦岐水産業普及指導センター長の川原隆浩様のご講演や魚の捌き方講座、山口

恭弘教授による魚の解剖実習を行いました。

2日目は、各グループが設定した課題解決のための解剖や測定を行い、3日目は解剖や測定の結果をまとめ、発表を行いました。

生徒たちは、始めは魚を恐る恐る触っていましたが、慣れるにつれてどんどん大胆に解剖を進めていくことができていました。また、思うような結果が得られず、試行錯誤を繰り返しながら、課題解決を行っていました。



新ALT紹介

2学期より、本校の新しいALTとしてケイラ・ウェストマリー先生が着任なさいました。先生はカナダ出身で、本校には木曜と金曜に来られます。どうぞよろしくお願いします。



1	土	
2	日	彦岐ウルトラマラソン
3	月	中間考査②③
4	火	中間考査①②③
5	水	中間考査①②③
6	木	中間考査①②③ 駅伝大会前健康診断センター試験100日前集会③
7	金	
8	土	★①②③
9	日	第2回英検一次
10	月	【体育の日】
11	火	
12	水	いじめ悩み調査(短縮で実施)
13	木	LHR(人権同和教育) 県高校弁論大会
14	金	
15	土	進研記述模試③ ねんりんピック
16	日	進研記述模試③ ねんりんピック
17	月	LHR(防災避難訓練 6校時)
18	火	
19	水	
20	木	7校時月6
21	金	
22	土	★①②③ 大分大リゾ(午後)
23	日	
24	月	校内駅伝大会係打ち合わせ
25	火	補習費分割納金③
26	水	補習費分割納金②
27	木	LHR(高総体駅伝推戴式、校内駅伝大会開会式)、補習費分納①
28	金	校内駅伝大会(→例年11/1、今年は11/2県駅伝のため)
29	土	進研実力テスト(3教科)① 進研実力テスト(5教科)② 県下一斉模試(5教科)③
30	日	進研実力テスト(5教科)② 県下一斉模試(5教科)③
31	月	

体育祭



9月3日
(土)、今年で4回目となる壱岐高校と虹の原特別支援学校壱岐分校高等部との合同体育祭が開催されました。

今年は天候に悩まされ、台風の接近による強風や雨などで直前まで実施が危ぶまれましたが、予定通りに行うことができました。

今年のブロック別応援のテーマは「祭」でした。各ブロックがテーマをもとに工夫を凝らした衣装でダンスを披露しました。

今年の結果は、総合優勝Aブロック、行進の部優勝Aブロック、パネルの部優勝Bブロック、応援の部優勝Bブロックでした。

体育祭を終えたあとには、結果にかかわらず、特に3年生は達成感や満足感を味わうこ



とことができました。短い期間で後輩達を指導し、ちゃんと本番でできるのか不安でしたが、何とかやり遂げた姿や出てくる言葉には成長が感じられました。体育祭を通して付けた力をこれからの2学期に発揮してくれることを期待します。



煌雪祭2016 文化祭



9月10日(土)、壱岐高校と虹の原特別支援学校壱岐分校高等部との合同文化祭が開催されました。

今年は、多くの生徒がより主体的積極的に文化祭の運営に関わることができるよう、文化祭実行委員会を組織しました。委員長の住吉風海さん(2年4組)のもと、壱岐高校の生徒だけでなく、虹の原特別支援学校壱岐分校の生徒も、積極的に文化祭の運営に携わりました。

今年のテーマは、「繋(きずな)～僕らの未来へ きらめけ雪

と虹～」です。出演団体の展示・ステージ発表は、短い準備期間であったにもかかわらず、創意工夫が凝らされており、見ごたえがあるものでした。多くの生徒たちの文化祭に対する強い意気込みを感じる事ができた、素晴らしい文化祭でした。

